

政策分析シート（平成28年度）

政策名	人が集う魅力あるまちの形成	政策No	06	部名	産業経済部		
				部長名	石原	内線 440	
関連部名	産業経済部						
行政評価事業体系	分野	Ⅲ 産業革新都市					
目的	観光振興を積極的に推進することで、地域経済・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等を図り、「人が集う魅力あるまちの形成」を目指していく。						
指標	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文		
		25年度	26年度	27年度			
	① まちの魅力	2.58	2.57	2.56	荒川区は、区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？		
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み		
	① 観光イベント等入場者数(千人)	104	114	118	97	132	川の手荒川まつり(H28途中終了)、
	②						シダレザクラ祭り(H25中止)、
	③						産業展、伝統技術展、バラの市
	④						都電荒川線沿線スタンプラリー
	⑤						
	⑥						
現状と課題 (指標分析)	<p>交流人口を拡大することが地域経済活動を活発にする有効な手段であり、国はもとより全国自治体で観光振興が推進されている。</p> <p>区においても、受入体制の充実を図るとともに観光資源の発掘やPRを行い、交流人口の拡大を図り、にぎわいと活力あるまちづくりを進めることが求められている。</p> <p>更に2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外から東京へ多くの来訪が見込まれる。荒川区にとっても大きなチャンスであることから、他自治体や関係機関等とも連携し、より一層観光振興への取組の拡大を図っていく必要がある。</p> <p>(指標の数値は、天候等外部的な要因で左右されるため、達成困難な場合が想定される。)</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の活性化を図るため、新たな観光資源の発掘、形成などにより、観光振興を推進していく。 ○地域の観光資源を有機的に結び付け、回遊性を高める取組をさらに進めていく。 ○来訪者が快適に楽しめるよう、満足度を高めるハード・ソフト両面の環境の整備を進めていく。 ○オリンピック・パラリンピックの開催に向け、外国人受入体制の充実を促進していく。 ○様々なツールを活用し、区内外へ区の魅力や観光情報の発信を行う。 ○近隣区及び他自治体等との連携を強化し、事業の実施を進めていくとともに、地域団体等民間でのにぎわい創出を支援していく。 ○懇談会等の提言を今後の計画づくりに活用していく。 						

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	28年度設定	29年度設定	
観光による地域活性化の推進	重点的に推進	重点的に推進	積極的に観光振興を推進していくことにより、区のイメージアップや来訪者の増加に繋がり、地域経済の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚など様々な効果が期待できることから、当該施策の優先度は極めて高い。